○特別養護老人ホーム　友愛苑　（短期入所生活介護を含む）

令和６年度特別養護老人ホーム友愛苑事業運営状況について、下記の通り報告いたします。

総括

令和６年度は、施設の ICT 化に向け大規模な機器の導入を行い、職員の働き方改革を図る第一歩となりました。また、築 20 年目の節目となり、移設当初より大切に使用してきました介護機器の経年劣化があり、更新を随時行った１年となりました。しかし、物価高騰のあおりもあり、更新する機器については、慎重に吟味しております。また、後に控えております「大規模改修」も視野に入れての対応と致しました。

友愛苑では、平成 27 年の介護報酬改正の影響により（介護度３以上）、入居時の重度化が進み、年間の入居・退居の数が増大しております。令和６年度は、入居 37 名・退居 35 名となっております。（令和５年度入居 34 名、退去 37 名）それに伴う職員負担も増大しておりますが、職員一丸となり努めてきました。ロングショートを活用して特養・ショートステイを一体的に運営し、稼働率が令和６年度は前年より５ポイントアップしました。令和６年６月からは生活相談員が３名から２名体制となりましたが、稼働率を維持出来ています。１月にようやく相談員を採用することが出来ました。

面会については、コロナ禍前に近づきつつあり、出来る限り柔軟な対応を行い、入居者ご家族と一緒に過ごせるように努めています。ご家族からは、満足のお声をいただいています。また、ご家族との外出も感染状況を踏まえながら緩和する事で、QOL の向上を目指しています。

加えて、令和６年度より、施設行事の再開も着手しており、「秋の遠足」として、須磨シーワールドへ行きました。ご家族へも声掛けし、職員と共に楽しいひと時を過ごすことができました。それから、令和５年度から再開しました大規模行事である「夏祭り」も引き続き開催して、地域との関わりを持つこともできました。10 月には友愛マルシェを開催し、わくわくウォークラリーの参加者も着実に増えております。

収入について、感染症発生時にも極力ショートステイの受け入れを継続したことから、前年度よりも介護保険事業収入として約 3,825 万円増加となりました。

経費支出については、物価の高騰等の影響により、コスト削減に努めましたが前年度より約 942 万円増加しております。

人件費については、12 月以降の退職者が 11 名となりましたが、前年度比 411 万円の増加となりました。

介護サービスの向上及び効率化のため、特養・ショート全室へ「ａ・ａ・ｍ・ｓ」というベッドセンサーを導入しました。生産性向上推進委員会にて、使用の状況等を話し合い、疑問点が生じた際には、ベンダーへ確認する様にしています。夜間の訪室回数の減少や更新した音声が明瞭になったインカムににより、職員間の連携もスムーズになり、業務負担の軽減に寄与しています。

１．令和６年度サービス利用状況について

（１） 入所者状況（参考：令和６年３月 31 日　現在　合計 85 名）

・稼働率

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
特養延利用数	2,540	2,637	2,514	2,623	2,568	2,493	2,664	2,703	2,824	2,880	2,449	2,598	31, 493
ショートステイ延利用者数	421	398	469	522	539	458	448	375	347	248	272	383	4, 848
特養稼働率	84.7%	85.1%	83.8%	84.6%	82.8%	83.1%	85.9%	90.1%	91.1%	92.9%	87.5%	83.8%	86.3%
SS 稼働率	140.3%	128.4%	156.3%	168.4%	173.9%	155%	146.7%	126.3%	112.6%	80.6%	97.9%	124.2%	132.8%
合計稼働率	89.7%	89.0%	90.4%	92.2%	91.1%	88.7%	91.5%	93.4%	92.6%	91.8%	88.4%	87.5%	90.5%
前年稼働率	91.6%	88.9%	76.2%	92.2%	90.4%	87.6%	91.0%	93.1%	79.4%	78.7%	81.1%	85.0%	85.5%

・平均年齢　　89 歳（前年度 88.2 歳）

性別　男性　19 人　　女性　66 人　　合計　85 人

年齢区分	男性人数	女性人数
65 歳未満	0 人	0 人
65 歳以上 70 歳未満	0 人	0 人
70 歳以上 80 歳未満	4 人	4 人
80 歳以上 90 歳未満	7 人	27 人
90 歳以上 100 歳未満	7 人	33 人
100 歳以上	1 人	2 人
合　計	19 人	66 人

・要介護度

平均介護度　3.72　（前年度 3.85）

要介護区分	人数
要介護１	１人
要介護２	６人
要介護３	23 人
要介護４	40 人
要介護５	15 人
合　計	85 人

（２）退所状況

令和６年度の退所者は35名で、属性と退所理由は下記の通りです。

退所日	年齢	性別	要介護度	在籍期間	退所理由
4月19日	103	男	2	1,087日	看取り介護にて永眠
4月28日	81	男	5	59 日	看取り介護にて永眠
4月28日	94	女	5	195日	看取り介護にて永眠
5月5日	90	女	4	139 日	看取り介護にて永眠
5月30日	95	女	4	3 日	労災病院にて永眠
5月31日	78	女	3	2,315日	中心静脈栄養となり、医療系の有料老人ホームへ退居となる。
6月5日	99	女	5	1,113 日	看取り介護にて永眠
6月15日	84	女	5	631 日	看取り介護にて永眠
6月20日	94	男	3	39 日	長期療養のため退居
6月20日	81	女	4	1日	看取り介護にて永眠
7月20日	83	女	4	121 日	長期療養のため退居
7月22日	85	男	4	418 日	看取り介護にて永眠
7月23日	95	女	5	22 日	看取り介護にて永眠
7月25日	95	男	5	1,168 日	長期療養のため退居
7月26日	88	女	3	136 日	家族希望で在宅復帰
8月6日	97	女	3	494 日	看取り介護にて永眠
8月9日	81	男	5	2,487 日	六甲病院にて永眠
8月21日	88	女	4	1,526 日	看取り介護にて永眠
9月28日	85	女	5	241 日	看取り介護にて永眠
11月4日	99	女	5	1,820 日	看取り介護にて永眠
11月29日	84	男	5	1,119 日	看取り介護にて永眠
12月3日	96	男	5	49 日	看取り介護にて永眠
12月21日	94	女	5	2,119日	看取り介護にて永眠
1月4日	98	女	4	1,934日	看取り介護にて永眠
1月21日	93	女	3	1,240日	看取り介護にて永眠
1月25日	90	女	4	2,719 日	看取り介護にて永眠
2月2日	87	男	5	783 日	看取り介護にて永眠
2月4日	90	女	4	85 日	家族希望により有料老人ホームへ転居。
2月4日	96	女	4	2,415日	看取り介護にて永眠
2月13日	93	女	4	1,621 日	看取り介護にて永眠
3月2日	85	女	4	3,694日	看取り介護にて永眠
3月8日	96	女	4	2,777日	看取り介護にて永眠

3 月 25 日	81	女	4	5 日	六甲病院にて永眠
3 月 27 日	90	女	4	862 日	長期療養のため退居
3 月 28 日	83	女	5	381 日	六甲病院にて永眠

退所理由は「永眠」が 35 件中 28 件でした。退所時平均介護度 4.2
病院での永眠が 4 件あり、4 名様共体調を崩されて入院され、そのまま入院先の病院にて永眠されました。ケアプランに基づき、施設で看取り介護を行い永眠された方は 24 件でした。
また、長期入院を理由に退居された方が、4 名おり、中心静脈栄養をする事となり、医療系の有料老人ホームへの転居をされた方が 1 名おられます。
その他、家族様の希望により、有料老人ホームへ転居された方 1 名及び在宅復帰が 1 名おられました。

（3）入所状況

令和 6 年度の入所者は 37 名で、属性と入所理由は下記の通りです。

入所日	年齢	性別	要介護度	入所理由
4 月 1 日	88	女	4	在宅生活していたが、介護者である夫の介護負担大きく、ロングショート利用より入居となる。相談員主催の「合同入所説明会」へ参加されていた方である。
4 月 8 日	98	女	4	医療機関へ入院していたが、在宅復帰は困難であった。介護度の区分変更をしており、入院期限と介護度の結果の兼ね合いにより、まずロングショート利用となりその後入居となる。
4 月 20 日	87	女	5	明石市の老健入所をしていたが、介護者が神戸市在住であり、入居となる。
4 月 25 日	81	女	5	三田市の病院へ入院したが、もともと東灘区の住所地であり、近隣施設の希望があり、入居となる。
4 月 26 日	90	男	4	東灘区の老健から退所期限内での施設入所の相談があり、入居となる。
5 月 1 日	85	女	3	在宅で生活されていた。施設入所」を考えていた矢先に本人の配偶者が永眠し、入居相談を受け、入居となる。
5 月 13 日	94	男	3	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。配偶者が友愛苑へ入居されており、本人及び家族が友愛苑を希望される。
5 月 23 日	89	男	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
5 月 28 日	95	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
6 月 5 日	81	女	4	以前に友愛苑へ入居していたが、長期療養目的にて退居されていた。状態が落ち着き、再入居となる。

6 月 11 日	88	女	3	他県にて生活されていた。家族様が東灘区在住であり、知人から友愛苑を勧められたとの事で相談があり、入居となる。
6 月 14 日	93	女	4	ケアハウス入居されていたが、要介護度が上がり、経済的な理由により特養を希望され、相談があり入居となる。
6 月 20 日	81	女	4	脳腫瘍により、急激なＡＤＬ低下がある。介護者である配偶者の介護負担が大きくなっていた。親族が友愛苑へ入居されていたこともあり、相談がある。ショートステイを利用しながら入居される。
7 月 1 日	81	女	4	垂水区のグループホーム入居されていた。ＡＤＬ低下がり、介護者である姉弟の住んでいる近くでの施設入所希望があり、相談を受け入居となる。
7 月 1 日	89	男	4	東灘区の老健へ入所されていたが、退所期限までに要介護度の区分変更の結果が不明であり、取り急ぎショートステイ・入居となる。
7 月 2 日	91	女	5	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は知人から勧められたとの事で友愛苑を希望されて、入居となる。
8 月 17 日	80	女	5	独居されていたが、持病の影響で急激に ADL が低下し、緊急ショート利用とる。その後、友愛苑への入所相談があり、入居となる。
9 月 1 日	88	女	3	独居であったが、認知機能低下により、そのままの生活が困難となり、家族様からショートステイの利用希望・入居相談があり、入居となる。
9 月 30 日	88	男	4	在宅生活されていたが、介護者が複数の介護を担っており、知人から勧められたとの事で友愛苑へショートステイ・入居相談があり、入居となる。
9 月 17 日	84	女	3	友愛苑近隣にて独居生活されていたが、認知機能低下により、入居相談がある。その後、医療機関への入院があり、退院を機に入居となる。
9 月 19 日	95	男	4	在宅生活をしていたが、認知機能低下があり、このままの生活が困難となる。配偶者が過去に友愛苑へ入居していた事もあり、家族様より入居相談があり、入居となる。
10 月 2 日	93	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
10 月 16 日	73	男	5	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様より入居相談があり、入居となる。
10 月 16 日	96	男	5	以前に友愛苑へ入居していたが、長期療養目的にて退居されていた。状態が落ち着き、再入居となる
11 月 1 日	91	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
11 月 1 日	79	女	4	他市の医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。入院期限が迫っており家族様は東灘区在住で友愛苑を希望されて、入居とな

				る。
11 月 12 日	89	女	4	兵庫区の老健入所だが、介護者が東灘区在住で近隣の施設を希望される。
11 月 18 日	89	女	3	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
12 月 1 日	85	男	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
12 月 12 日	96	女	3	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
12 月 16 日	73	男	5	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
12 月 26 日	87	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
1 月 1 日	88	女	3	独居で生活されていたが、認知力低下があり、施設入所を希望される。介護者の親戚が過去に友愛苑へ入居されていた事で入居希望がある。
1 月 8 日	91	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。
2 月 8 日	90	女	5	東灘区の老健入所されていた。退所期限が近づき、在宅復帰困難であり、入居相談があった。
2 月 28 日	97	女	3	東灘区のサ高住入居されていた。本人の姉が過去に友愛苑に入所していた事で、入居相談がある。
3 月 21 日	81	女	4	医療機関入院されており、在宅復帰困難であった。家族様は友愛苑を希望されて、入居となる。

要介護 3（9 名）、要介護 4（20 名）、要介護 5（8 名）　入居時平均介護度 3.97

医療機関 18 名、在宅 11 名、老健 5 名、ケアハウス・グループホーム・サ高住　各 1 名

神戸市の入所指針に従い、入所検討委員会での議論の上、重度の方、緊急性の高い方を優先に入所して頂いております。傾向として、入院されたものの退院後に在宅復帰が困難な方、他施設での適応外になった方の入所が増えております。在宅のケアマネジャーはもちろん、病院や他事業所との関係性を強化していくことが重要と考えております。

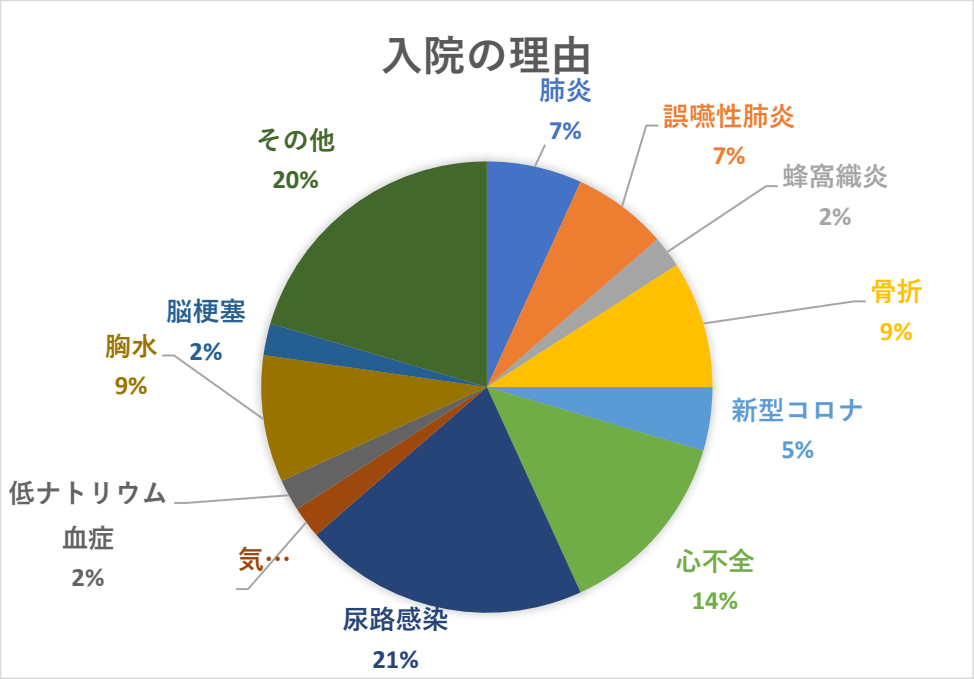
（4）入所待機者状況

待機者数としては男性 16 名、女性 43 名、合計 59 名です。

近年、入退去数の増加や他の有料老人ホーム等の介護サービス事業所の増加により、総待機者数は減少傾向にあります。しかし、申込件数自体は年間 80 件程あります。

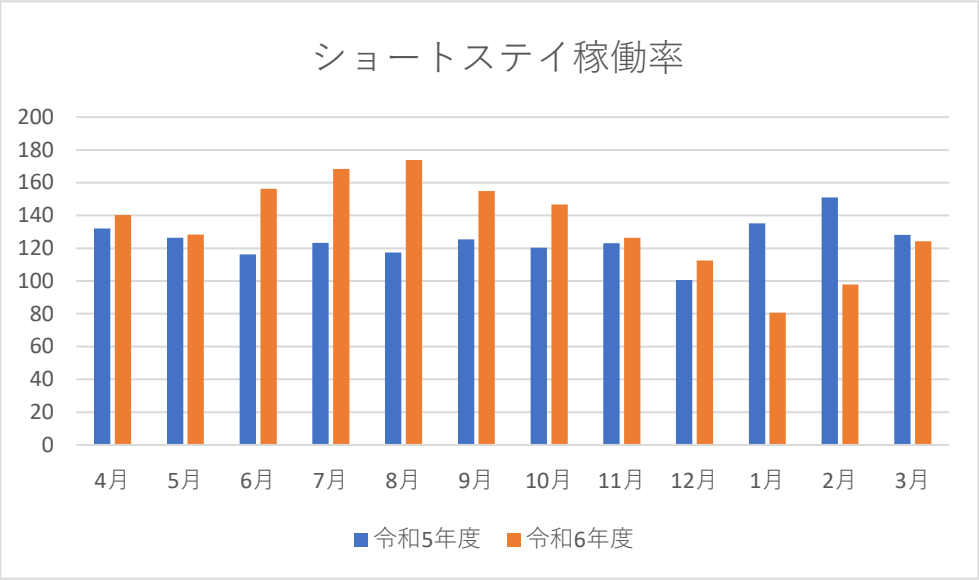
（５）特養入院者状況（延べ利用者数）

疾患	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
肺炎	1		1								1		3
誤嚥性肺炎		1						1				1	3
蜂窩織炎						1							1
骨折			1	1		1	1						4
新型コロナ		1		1									2
心不全				1	1	1			1	1	1		6
尿路感染		1	2			2	1	1			1	1	9
気管支炎	1												1
低ナトリウム血症			1										1
胸水	1		1		1			1					4
脳梗塞											1		1
その他	1	3	5	8	2	0	4	1	3	1	2	6	9
計	4	6	11	11	4	5	6	4	4	2	6	8	71



新型コロナウイルス感染症以降、積極的入院加療ではなく、施設内での嘱託医対応での療養を希望される方が増加している傾向です。入院者は、持病（ネフローゼや心不全等）の悪化による受診の事案が多いです。

（６）短期入所介護



新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの感染により、稼働が落ち込んだ月もありましたが、概ね昨年度対比で稼働率の向上できました。また、特養と一体的に稼働する事ができています。緊急の受け入れも積極的に行っています。

(7)　事故報告・ヒヤリハット

事故の種類	件数
内出血	46
転倒・転落	165
外傷	218
内服	31
胃ろう	3
その他	18
計	481 件
ヒヤリハット	256 件

令和６年度　神戸市に報告した重大事故等の内容は以下の通りです。

発生日	年齢	性別	事故の内容
7 月 15 日	86	女	廊下の手すりを持って歩行されていた際に、前方から来られた利用者を避けようとした際に、バランスを崩して転倒され、左手首・左手第５指の骨折
8 月 9 日	93	女	朝食の離床時に痛みの訴えがある。受診の結果、恥骨と座骨骨折が判明する。
8 月 24 日	87	男	食事の席から立ち上がった際に、バランスを崩し転倒される。左前額部裂傷がある。
1 月 27 日	73	男	お昼過ぎから本人様の姿か見えず、確認すると一人で外へ

			出てしまっている事が判明する。東灘警察署等関係各者へ連絡し捜索する。その後、一人で歩いている所を保護された。

(8)　職員入退職（友愛苑全体）

職種	入職者数	退職者数	年度末過不足数
介護職員	2名	8名	5名
生活相談員	1名	1名	
看護職員	1名	2名	1名
介護支援専門員	1名	1名	
事務職員		1名	1名
運転手	1名		
	6名	13名	

2025.3.31 介護職56名、看護職6名、全職員数103名　離職率12.6%（前年8.6%）

２．令和６年度事業計画の進捗状況について

(1)　令和６年度の重点取り組みについて

➢入居者獲得の営業活動

・苑長と相談員が東灘区・灘区の老健・病院にご挨拶に回りました。顔の見える関係づくりに今後も取り組んでまいります。法人事業所において営業活動の一環として「友愛マルシェ」や「わくわくウォークラリー」、７年度の新企画の「神戸老人ホーム耳寄りばなし」の開催により、事業所に集っていただく機会を設けてご利用者に繋がるよう取り組んでまいります。

➢感染症対策

・感染症については新規採用の職員や特定技能介護員を含めて、全職員がガウンテクニックや感染経路の遮断についての知識を繰り返し確認しました。新型コロナウイルス感染症発生時には今までの経験を生かした対応により１月の発生時も３階フロアのみの感染で抑えることが出来ました。

➢季節行事の開催・インスタグラム発信

・秋の遠足として、須磨区にある「シーワールド」へフロアごとに３回に分けて外出しました。ご家族へもお声掛けし、ご同行いただき楽しいひと時を過ごして頂けました。また、季節の行事として友愛苑最大行事である夏まつり、むつみ地蔵の地蔵盆も子供たちにお菓子を配り地域行事としても定着してまいりました。敬老を祝う会とクリスマス会では神戸科学技術高校ブラスバンド部が来苑してくれました。感染対策に注意しながら、苑内でのイベントも多数開催しました。インスタグラムに遂次アップして楽しんでおられる様子を発信しています。

➢施設間・職員間での連携

・法人内においては、各職種での部会を通して、情報交換などの努めております。また、施設内においても、懇親会費の活用や行事・イベントを通して職員間で協力し、対応する事で絆を深めました。

➢友愛苑診療所

・友愛苑診療所については今年度は特に進捗はありません。継続課題として検討してまいりたいと考えています。

(3) 行事・催し物について

令和６年度の主な開催行事

実施日	行事名	実施内容
4 月 1 日	季節の和菓子	桜餅を提供
4 月 8 日	花祭り	甘茶とスナック菓子を提供
4 月 16 日	アクセサリーボランティア	素敵なアクセサリーを製作
4 月 24 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたスパゲティナポリタンを提供
5 月 5 日	端午の節句ちらし寿司 季節の和菓子	ちらし寿司と柏餅を提供
5 月 15 日	バーベキュー	中庭でバーベキューを開催
5 月 20 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたミックスグリルを提供
5 月 26 日	音楽ボランティアコンサート	ボランティアを招いてコンサートを開催
6 月 25 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたビーフカレーライスを提供
7 月 6 日 7 月 13 日 7 月 23 日	流しそうめん	中庭で流しそうめんを実施
7 月 7 日	七夕イベント	七夕にちなんだ物語の紹介やクイズ 職員による歌のコンサート
7 月 26 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたコロッケを提供
8 月 9 日	うな丼	うな丼を提供
8 月 16 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージした海老ピラフを提供
8 月 24 日	夏祭り	屋台の焼きそば、トルネードポテト、チーズフライ、フランクフルト、チャイを提供
9 月 16 日	敬老の日	にぎり寿司と常盤堂の練り切りを提供
9 月 21 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたポークチャップを提供

9 月 30 日 10 月 1 日 10 月 3 日	渦が森小学校来苑	小学生の子供たちと触れ合い小学生による歌やお手紙のプレゼント
10 月 23 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたハヤシライスを提供
10 月 31 日	・ハロウィンイベント ・季節の和菓子	・仮装した職員がユニットを回りお菓子と歌のプレゼント ・ハロウィンまんじゅうを提供
11 月 7 日	コーラスボランティア	ボランティアを招いてコーラスによる音楽ボランティア
11 月 16 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージした海老フライを提供
11 月 18 日 11 月 30 日 12 月 5 日	外出行事	須磨シーワールドに行きイルカショーやオルカショー、食事等を楽しむ
12 月 15 日	音楽ボランティア	ボランティアを招いてコンサートを開催
12 月 19 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたオムライスを提供
12 月 24 日	クリスマス	クリスマスにぎり寿司とサンタまんじゅうを提供
12 月 25 日	・クリスマス会 ・クリスマス	・職員と入居者によるクリスマスソングの合唱、 ・サンドウィッチプレートとクリスマスケーキを提供
12 月 31 日	年越しそば	年越しそばを提供
1 月 1 日	元旦	おせち料理と干支まんじゅうを提供
1 月 1 日	獅子舞	獅子舞が入居者を回り頭を噛んで健康祈願
1 月 2 日	正月料理	新年をイメージしたちらし寿司を提供
1 月 3 日	正月料理	赤飯、紅白の天ぷらを提供
1 月 15 日	初釜	抹茶と練り切りを提供
1 月 27 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたポークジンジャーを提供
2 月 2 日	節分	・赤鬼と青鬼がユニットに出没、ボールを投げて鬼は外、福は内を実施 ・恵方巻、赤鬼まんじゅうを提供
2 月 14 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたドリアを提供
3 月 3 日	ひな祭り	ちらし寿司と雛人形まんじゅうを提供
3 月 9 日	音楽ボランティア	ハーバー混声合唱団によるコンサート開催

3 月 22 日	天ぷら実演	揚げたての天ぷらを提供
3 月 25 日	イベント食　昭和食堂	昭和の喫茶店をイメージしたハンバーグを提供

この他、各ユニットでおやつレクリエーションを実施しています。

委託給食会社と連携し、季節感のある食材を使用しています。物価高騰の中、献立を調整しながら栄養量の確保に努めました。

誤嚥や食中毒、異物混入の防止等の予防に細心の注意を払うことで安全な食事提供に努めています。

３．苦情対応について

令和 6 年度において、苦情はありません。

４．会議・委員会等

令和 6 年度においては、概ねコロナ禍以前と同様の体制で各種会議、委員会を実施しております。

〇拠点共通

【定例会議】

月に一度各事業所の役職者及び職種の代表を招集し、事業実績や主な出来事の報告、相談を行いました。

【安全管理対策委員会】

月に一度開催し、広く拠点におけるリスク管理について検討し、意思決定を行いました。

【高齢者虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会】

月に一度開催し、身体拘束の有無、高齢者虐待につながるような状況や不適切ケアが行われていないかの確認を行いました。苦情対応等の事例を共有することで、拠点としてのコンプライアンスの向上を図りました。

【感染症対策委員会】

3 ヶ月に一度開催し、感染症発生状況の確認、対応マニュアルの見直し、設備・備品の備蓄状況の確認や組織的な感染症対策に関する議論を行いました。

拠点内で利用者様、職員、職員の同居家族等に新型コロナウイルス感染症への感染が疑われるような事案が発生した場合等は、臨時感染症委員会を随時開催し、情報共有と対応の検討を行いました。

【衛生委員会】

月に一度、各部署代表者と拠点の職員代表を招集し、職場の労働状況と安全、衛生環境について検討を行いました。産業医による巡視、外部専門家による職員のストレスチェックの結果分析も実施しております。

【災害対策委員会】

月に一度、各部署代表者により災害対策についての検討、防災についての研修や訓練の企画、運営を行いました。災害時のＢＣＰについても検討を重ねております。

【給食会議】

給食委託会社（グリーンハウス）を招き給食内容の確認やイベント等について情報共有を行いました。グリーンハウスよりかもこの風に勤務しているエリアマネージャーが参加し、質の向上について意見交換も行っております。

○特別養護老人ホーム友愛苑（短期入所生活介護を含む）

【リーダー会議】

月に一回、リーダー以上の職員及び各職種の代表にて、業務上の課題の検討と運営に必要な情報共有を行いました。

【事故発生防止委員会】

月に一回、事故報告書とヒヤリハット報告書の分析を行い、原因解明と対策について検討を行い、事故の発生防止について議論を行いました。

【ケースカンファレンス】

毎月、介護支援専門員を中心にケース担当介護職員、生活相談員、看護職員、栄養士、介護部長で各利用者様の施設サービス計画書の立案に係るカンファレンスを行いました。

【入所検討委員会】

月に一度、施設長、副施設長、生活相談員、看護職員で申込者のリストを確認し、入所者の選定、優先度の検討を行いました。

【生産性向上推進委員会】

月に一度、介護職員で業務上の課題を抽出し、自由に議論しながら改善についての方法を話し合いました。

【排泄委員会】

月に一度、介護職員と副施設長で構成する委員会に排泄備品メーカーの担当者を招き、排泄ケア全般についての課題検討、ケア向上についての話し合いを行いました。

５．研修等

・別紙「令和６年度研修実施状況」の通りです。

６．防災計画について

・年 2 回の消防避難訓練を事業所合同で実施しました。火災発生想定の場所を事前にアナウンスせず、

各自で火元の確認から行うことで、臨場感のある訓練を行うことが出来ました。当日参加できなかった職員全員に書面での研修を行うことで、定期的にマニュアルを読み返し火災発生時のイメージができるよう取り組みました。

・災害発生時のＢＣＰについて、災害対策委員を中心に外部研修を受け、策定を行いました。

・備蓄食訓練について、実際の災害発生時を想定し、現場職員が自ら倉庫に備蓄食を取りに行き、必要な備品を運搬し、説明書を読みながら協力して調理を行うことによって実践的な訓練を行うことが出来ました。

７．資金収支について

・別紙　令和６年度決算書の通りです。

○デイサービス　こだま

令和６年度デイサービスこだま事業運営状況について、下記の通り報告します。

1　令和６年度総括

令和 6 年度は、デイサービスこだまにとって変化と成長の一年となりました。上半期は苦難の時期となり、運営面での調整が必要でしたが、下半期にかけて大きく業績を挽回し、最終的には前年を上回る成果を上げることができました。

業績の推移を見ても、利用者数は前年の 6,842 人から 7,219 人へと 5.5%増加し、稼働率も前年の 62.91%から 66.75%へと 3.84 ポイント上昇しました。さらに、介護収入は 78,007,858 円から 84,003,263 円へと 7.69%増となり、安定した収益成長が確認されました。人件費も適切に管理され、前年の 54,932,899 円から 56,397,807 円へと 2.67%増加しました。

10 月の管理者変更を契機に、組織運営の改善が進み、業務の効率化、生産性の向上、チームワークの強化、そして職場環境の改善が実施されました。業務フローを見直すことで業務効率が向上し、職員間の連携が深まることでサービス品質の向上につながりました。特に、利用者の機能維持・向上を目的として新たな機能訓練プログラムを導入しました。

- ・セラバンドやゴム風船を活用した筋力トレーニングを実施し、手指の巧緻性や上肢の筋力維持を強化。
- ・浴槽またぎ訓練を取り入れ、入浴動作のスムーズな実施をサポート。これにより在宅生活の自立支援が進みました。
- ・平行棒を導入し、歩行訓練を充実させることで転倒予防への対策を強化。

また、職場環境の改善にも取り組みました。事務所内のレイアウト変更を実施し、開放的で明るい空間づくりを進めたことで、スタッフ間のコミュニケーションが円滑になりました。これにより、職員のモチベーション向上と働きやすい環境が実現され、サービス提供の質も向上しました。

結果として、利用者の笑顔を引き出し、楽しく過ごせる場を提供することができました。単に介護サービスを提供するだけでなく、利用者一人ひとりの生活の質を高めることに重点を置いた取り組みが、在宅生活を支援する重要な役割を果たしています。

今後の展望として、令和 7 年度はさらなる業務改善とサービス向上を目指し、特にデジタル化の推進、新規利用者獲得、職員育成に重点を置いて運営を進めていく方針です。引き続き、より良いサービスを提供するために組織全体で努力を重ねていきます。

2　令和６年度サービス利用状況について

デイサービス利用状況(延べ利用者数)　別表参照

3　会議(デイ単独開催)

○　スタッフ・フロア会議　（月１回）

- ・　業務改善について
- ・　感染対策について
- ・　ヒヤリハット・リスクマネジメントについて

・　新規利用者ケアについて
・　行事について
・　指導について
・　プライバシー保護･接遇について
・　感染症･食中毒予防について

○　ケアプラン会議　（月１回）
・　通所介護計画書評価・改訂
・　個別機能訓練計画書評価・改訂
・　予防通所介護計画書評価・改訂
・　運動器機能訓練計画書評価・改訂

○　高齢者虐待予防委員会　（３月に１回）
・事業所内での事案の有無や気づきについて
・ご利用者の家庭での事案の有無や気付きについて
・虐待の芽チェックリストによる意識向上

上記内容を管理者・相談員・看護師(機能訓練指導員兼務)・介護職員で議論を行っています。

4　資金収支
別紙令和６年度決算書のとおりです。

○友愛高齢者生活支援センター

令和６年度友愛高齢者生活支援センター事業運営状況について、下記の通り報告します。

1. 令和６年度総括

１月に係長職員が産休、育児休暇に入り、後任で新人職員が１名入職し５人体制継続で業務遂行しています。引継ぎ時、減数でした。新人職員であり、指導を行いながら新たな１名の持ち件数を確保するよう努めてまいりましたが、増減の激しい状況が続いています。実績では介護給付４月は 155 件から始まり、年度末では計 1,888 件で月平均 157 件という結果となりました。予防給付では今年度より、委託以外に指定を受けることになり件数を確保しています。

加算は「新規加算」が 62 件でした。医療連携加算は今年度より条件が厳しくなっていますが取りこぼしがないよう迅速に対応し取得に努めました。ターミナルケースも積極的に受けるよう努めています。

制度改正に伴い、特定事業所加算要件を満たす研修の参加、BCP マニュアルの確認、研修実施等抜けにないように努めました。

ご利用者の平均介護度は、2.18 でした。また、特定事業所加算の項目になっている、「他事業所と合同で開催する事例検討会（年５回）」に、参画と検討会に各職員が参加しました。

2. 令和６年度利用状況について

別紙参照

3. 令和６年度事業計画の進捗状況について

A） 事業内容

(1) 職員研修の実施について(職員資質向上)

- 施設内研修

施設内研修に関しては、業務としての位置づけであることを明確にされている研修に関しては参加しています。

※主な施設内研修

開催月	内容	講師	参加人数
R6.6 月	個人情報保護研修	藤田施設長	5 人
R6.5 月・12 月	虐待研修	田原課長	5 人
R6.5 月・12 月	身体拘束研修	田原課長	5 人
R6.7 月・12 月	倫理研修	稲松氏	5 人
	避難訓練	災害対策委員会	

居宅会議では主任介護支援専門員を中心にアセスメントがしっかり行えるようにアセスメントの勉強会、事例検討を実施し、各々が自己研鑽に努め、自己覚知することや各々の価値観に目を向ける機会を意識して取り組み、スーパービジョンを行いケアマネジメントの質の向上を図りました。特に新人職員に対し、制度、法令遵守、ケアマネジメントのプロセスについて勉強会を中心に行いました。

- 施設外研修

職員研修については、コロナ禍以降、ズームでの開催の場合はオンライン研修で参加し、スタッフ全員のスキルアップのために職員間で偏りのない様に心がけています。

外部研修の開催機会も増えてまいりましたので積極的に参加しました。

研修において習得した知識は居宅会議の場で報告し共有しています。

(2) 介護保険要介護認定申請代行

新規申請、更新申請、変更申請の代行を行っています。

(3) 認定調査業務

併設居宅により神戸市から委託。調査員２名（専属）予備１名で実施。他府県については依頼があれば受託しています。

(4) 総合相談業務

各担当者が各々の利用者の総合的な相談を毎月１回訪問した時に行っています。内容によっては会議で情報交換、共有しています。窓口に来られた方の対応は、内容により関係機関に繋ぐ等速やかに対応しています。

(5) 権利擁護支援業務

あんしんすこやかセンター、地域の方、サービス関係者との繋がりを大切にし「住み慣れた地域で、安心して、自分らしく暮らし続けることができること」を支援しています。悪徳商法への対応、虐待への対応等を行っております。

(6) 居宅介護サービス計画の作成業務

アセスメント、担当者会議、モニタリングを行い、利用者のニーズに沿って計画書を作成し、本人、家族に同意を得ています。短期目標終了時、新規サービス導入時には見直しをしています。

(7) 介護予防支援委託業務

依頼に応じ対応しています。

(8) 医療と介護の連携

各担当ケースにおいては各々が主治医と連携を行い、担当者会議の開催、カンファレンスへの参加、コメントを求めています。地域ケア会議等に参加しています。

(9) 包括的地域ネットワーク業務

居宅介護支援事業所としてケアマネジメント業務だけでなく、御影北部あんしんすこやかセンターと連携して笑顔をつなぐネットワーク会議、地域ケア会議に参加、法人企画の地域支援への参画等、開催がある限り参加しました。

虐待などの困難ケースに対しても、あんしんすこやかセンターからの依頼を積極的に受けました。あんしんすこやかセンター、行政とも連携し、チームアプローチを行うことにより、解決を図りました。また、他のあんしんすこやかセンターとの連携、交流する事が必要であると考え、予防プランニングの依頼も積極的に受け交流を深めています。

(10) 介護者支援

あんしんすこやかセンター主催の「介護リフレッシュ教室」への参加を促しています。

(11) 職員体制

主任介護支援専門員１名、介護支援専門員４名で運営しました。

(12) 個人情報の保護と取り扱いについて

キャビネット内でファイル保管し、各自で注意して管理しています。

(13) リスクマネジメントについて

神戸市へ報告した事故はありませんでした。

(14) 苦情について

苦情は特にありませんでした。

（15）災害・緊急時の対応について

マニュアルを作成し、各担当者が優先順位をつけてファイルを整備し、迅速に対応できるようにしています。

4. 会議等

① 【定例会議】

月に一度、各事業所の職種代表を招集し、各月の利用実績や主な出来事の報告、相談および意見交換を行っています。その他、各種会議、委員会の参加。

②【居宅会議】

毎週１回　各自の困難なケースについて情報交換、共有し担当者がいなくても対応できるようにしています。

隔週で各月の担当者が内容を決めて勉強会、事例検討会を行っています。必須研修内容を把握し年間を通して内容の偏りのないようにしています。

③【居宅合同会議】

住吉高齢者生活支援センター管理者と適宜、情報交換会を行い職員に情報を提供しています。

今年度は 3 月に実施しました。

④【あんしんすこやかセンターとの情報交換会】

交流、情報交換、虐待、困難ケースへの対応等意見交換を行っています。

⑤【住吉北部・御影北部ケアマネネットワーク会議】

あんしんすこやかセンター主催で開催しています。

地域のケアマネージャーの情報交換会、勉強会

5. 資金収支

別紙令和 6 年度決算書のとおりです。

友 愛 苑	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
特養延定員	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500	3,060
実入居者数	85	86	80	84	82	82	89	88	93	91	85	85	1,030	103.00
延入居者数	2,540	2,637	2,514	2,623	2,568	2,493	2,664	2,703	2,824	2,880	2,449	2,598	31,493	2,624.42
稼働率	84.7%	85.1%	83.8%	84.6%	82.8%	83.1%	85.9%	90.1%	91.1%	92.9%	87.5%	83.8%		86.3%
平均入居者数	84.7	85.1	83.8	84.6	82.8	83.1	88.8	90.1	94.1	96.0	81.6	86.6		87.3
新入所数	5	4	4	3	1	4	3	4	4	2	2	1	37	3.08
退所数	3	3	4	5	3	1	0	2	2	3	4	5	35	2.92
入院実人数	4	6	11	11	4	5	6	4	4	2	6	8	71	5.92
入院延人数	40	68	113	126	25	52	64	32	32	15	60	138	765	63.75
平均入院日数	10.0	11.3	10.3	11.5	6.3	10.4	10.7	8.0	8.0	7.5	10.0	17.3		10.8
介護１延人数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.42
介護２延人数	109	93	120	124	124	120	124	120	109	141	121	183	1,488	124.00
介護３延人数	556	575	549	557	533	536	606	613	671	671	617	690	7,174	597.83
介護４延人数	1,142	1,225	1,172	1,238	1,246	1,207	1,264	1,338	1,458	1,510	1,190	1,228	15,218	1,268.17
介護５延人数	703	713	643	673	634	600	639	602	555	527	493	466	7,248	604.00
計	2,540	2,637	2,514	2,623	2,568	2,493	2,664	2,703	2,824	2,880	2,449	2,598	31,493	2,624.42
平均介護度	3.94	3.95	3.91	3.91	3.91	3.89	3.88	3.87	3.85	3.82	3.82	3.74		3.87
介護収入	41,246,502	42,698,108	42,520,331	43,698,497	42,461,170	40,543,724	41,641,604	45,962,941	46,548,605	46,293,063	39,864,508	43,700,709	517,179,762	43,098,314
前期月収入	41,173,616	43,115,609	43,337,858	43,162,881	41,475,028	41,612,196	40,566,889	38,125,178	39,098,028	37,375,381	33,449,343	40,230,318	482,722,325	40,226,860
月1件平均収入	485,253	496,490	531,504	520,220	517,819	494,436	467,883	522,306	500,523	508,715	468,994	514,126		502,116
1人1日平均収入	16,239	16,192	16,913	16,660	16,535	16,263	15,631	17,004	16,483	16,074	16,278	16,821		16,422.05
短期延定員	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650	306
実入居者数	42	48	53	57	57	49	59	52	52	45	44	53	611	50.92
延入居者数	415	393	464	513	532	458	448	375	347	248	272	383	4,848	404.00
稼働率	138.3%	126.8%	154.7%	165.5%	171.6%	152.7%	144.5%	125.0%	111.9%	80.0%	97.1%	123.5%		132.8%
平均入居者数	13.8	12.7	15.5	16.5	17.2	15.3	14.9	12.5	11.6	8.3	9.1	12.8		13.8
支援１延人数	2	2	5	2	2	2	2	2	2	2	2	9	34	2.8
支援２延人数	17	5	9	11	22	10	21	28	2	10	4	4	143	11.9
介護１延人数	56	30	33	47	91	90	77	66	55	48	75	61	729	60.8
介護２延人数	83	85	54	66	56	58	36	46	63	51	55	54	707	58.9
介護３延人数	128	101	121	154	135	80	96	103	124	75	103	176	1,396	116.3
介護４延人数	53	83	173	171	166	184	170	84	47	28	16	44	1,219	101.6
介護５延人数	76	87	69	62	60	34	46	46	54	34	17	35	620	51.7
計	415	393	464	513	532	458	448	375	347	248	272	383	4,848	404.0
平均介護度	2.91	3.24	3.33	3.20	2.98	2.96	3.03	2.79	2.92	2.67	2.37	2.75		2.97
介護収入	6,361,482	5,320,648	7,145,828	8,075,280	7,880,866	6,878,696	7,100,305	5,669,725	5,544,095	3,651,817	3,427,020	5,103,621	72,159,383	6,013,282
前期月収入	6,469,457	5,736,566	5,244,152	5,679,398	5,191,111	6,291,178	5,030,014	5,816,080	4,467,822	6,878,993	5,240,522	6,323,623	68,368,916	5,697,410
月1件平均収入	151,464	110,847	134,827	141,672	138,261	140,382	120,344	109,033	106,617	81,151	77,887	96,295		118,100
1人1日平均収入	15,329	13,539	15,400	15,741	14,814	15,019	15,849	15,119	15,977	14,725	12,599	13,325		14,884
合計稼働率	89.5%	88.9%	90.2%	92.0%	90.9%	89.4%	91.3%	93.3%	93.0%	91.7%	88.3%	87.4%		90.5%
前年合計稼働率	91.6%	91.3%	92.4%	91.0%	87.7%	84.0%	82.0%	83.4%	79.4%	78.8%	79.9%	85.2%		85.6%
合計収入対前年比	99.9%	98.3%	102.2%	106.0%	107.9%	99.0%	106.9%	117.5%	119.6%	112.9%	111.9%	104.8%		106.9%
LS合計予算	48,237,945	49,845,877	48,237,945	49,845,877	49,845,877	48,237,945	49,845,877	48,237,945	49,845,877	49,845,877	45,022,082	49,845,877	586,895,000	48,907,917
LS合計執行率	98.7%	96.3%	103.0%	103.9%	101.0%	98.3%	97.8%	107.0%	104.5%	100.2%	96.2%	97.9%		100.4%

今期特養人件費	27,104,991	21,936,890	39,503,203	28,215,081	22,405,844	22,338,981	25,696,851	21,594,288	44,577,573	23,666,451	21,958,684	25,598,892	324,597,729	27,704,015
今期短期人件費	3,614,905	2,819,513	5,089,035	3,384,370	2,576,479	2,535,891	2,986,585	2,858,260	5,914,041	3,268,448	2,892,638	3,664,656	41,604,821	3,504,753
													366,202,550	366,202,550

こ だ ま	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
実稼働日数	25	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	309	25.75
実利用者数	69	64	63	65	67	64	68	72	71	69	68	70	810	67.50
延利用者数	567	590	541	569	597	579	668	672	666	518	586	666	7,219	601.58
新規利用数	4	1	4	5	2	2	5	6	2	0	9	3	43	3.58
利用中止数	4	9	2	6	5	2	2	0	2	1	0	4	37	3.08
1日平均利用者数	22.7	21.9	21.6	21.1	22.1	23.2	24.7	25.8	25.6	21.6	24.4	25.6		23.36
1人平均利用日数	8.2	9.2	8.6	8.8	8.9	9.0	9.8	9.3	9.4	7.5	8.6	9.5		8.91
稼働率	64.8%	62.4%	61.8%	60.2%	63.2%	66.2%	70.7%	73.8%	73.2%	61.7%	69.8%	73.2%		66.75%
前年延利用者数	617	676	624	557	539	514	534	568	574	531	550	558	6,842	570.17
対前年比	91.9%	87.3%	86.7%	102.2%	110.8%	112.6%	125.1%	118.3%	116.0%	97.6%	106.5%	119.4%		105.51%
支援１	19	21	19	19	15	16	14	12	18	14	12	12	191	15.64
支援２	14	18	15	16	16	17	21	26	19	11	9	13	195	16.25
介護１	140	150	129	146	143	153	173	177	197	151	206	255	2,020	168.33
介護２	167	163	165	162	201	201	228	221	221	147	159	188	2,223	185.25
介護３	108	116	104	121	112	107	137	135	114	111	120	101	1,386	115.50
介護４	106	99	82	71	86	67	70	71	69	58	55	55	889	148.17
介護５	13	23	27	34	24	18	25	30	28	26	25	42	315	52.50
計	567	590	541	569	597	579	668	672	666	518	586	666	7,219	573.83
平均介護度	2.29	2.29	2.30	2.28	2.27	2.15	2.18	2.19	2.12	2.22	2.11	2.06		2.20
介護収入	6,908,211	6,456,965	6,687,517	6,703,515	6,846,764	6,914,087	7,617,982	7,787,023	7,527,037	6,055,367	6,758,237	7,740,558	84,003,263	7,000,272
予算	6,972,194	7,240,355	6,704,032	7,240,355	7,240,355	6,704,032	7,240,355	6,972,194	6,972,194	6,435,871	6,435,871	6,972,194	83,130,000	
執行率	99.1%	89.2%	99.8%	92.6%	94.6%	103.1%	105.2%	111.7%	108.0%	94.1%	105.0%	111.0%		101.1%
前年介護収入	6,804,157	7,665,760	7,013,734	6,205,466	6,068,022	7,009,122	5,117,234	6,272,479	7,020,269	6,217,973	6,293,399	6,320,243	78,007,858	6,500,655
対前年比	101.5%	84.2%	95.3%	108.0%	112.8%	98.6%	148.9%	124.1%	107.2%	97.4%	107.4%	122.5%		107.7%
月1件平均収入	100,119	100,890	106,151	103,131	102,191	108,033	112,029	108,153	106,015	87,759	99,386	110,579		103,708
1人1日平均収入	12,184	10,944	12,361	11,781	11,469	11,941	11,404	11,588	11,302	11,690	11,533	11,622		11,636
今期人件費	4,844,990	4,089,232	6,324,479	4,908,731	4,053,669	3,918,136	4,428,067	3,850,015	6,820,270	4,184,781	3,870,472	5,104,965	56,397,807	4,742,237

友愛支援センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
ｹｱﾏﾈ人員換算	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.00
居宅支援件数	155	159	168	167	171	165	167	155	147	147	142	145	1,888	157.33
平均件数	31	31.8	33.6	33.4	34.2	33	33.4	31	29.4	29.4	28.4	29		32.83
新規加算件数	13	8	11	4	8	2	4	1	1	4	3	3	62	5.17
医療連携	3	3	8	7	6	3	7	2	4	4	3	7	57	4.75
介護予防件数	11	13	13	17	18	19	19	19	18	18	19	18	202	16.83
認定調査数	24	27	24	27	29	10	18	20	2	34	27	42	306	23.67
認定調査数(神戸市内)	23	27	22	23	29	10	18	19	22	29	25	42	289	24.08
認定調査数(他都市)	1	0	2	4	0	0	0	1	2	5	2	0	17	1.42
介護１	60	60	64	67	67	66	63	63	58	63	61	62	754	62.83
介護２	45	45	45	48	51	46	49	44	42	40	41	42	538	44.83
介護３	21	24	27	22	24	22	23	19	20	17	17	17	253	21.08
介護４	12	13	15	14	15	18	19	17	17	17	13	13	183	15.25
介護５	17	17	16	16	14	13	13	12	10	10	10	11	159	13.25
計	155	159	167	167	171	165	167	155	147	147	142	145	1,887	157.25
平均介護度	2.23	2.26	2.25	2.19	2.17	2.19	2.22	2.17	2.18	2.12	2.08	2.10		2.18
前期月収入	3,057,632	2,692,500	2,553,760	2,618,530	2,386,385	2,496,223	2,479,731	2,610,776	2,579,618	2,589,028	2,784,354	2,819,052	31,667,589	2,638,966
当期月収入	2,926,921	3,104,155	3,281,646	3,191,020	3,139,608	3,075,393	3,272,776	2,866,808	2,821,689	2,707,688	2,838,137	2,819,173	36,045,014	3,003,751
対前年比	95.7%	115.3%	128.5%	121.9%	131.6%	123.2%	132.0%	109.8%	109.4%	104.6%	101.9%	100.0%		113.8%
予算	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	3,108,333	37,300,000	
執行率	94.2%	99.9%	105.6%	102.7%	101.0%	98.9%	105.3%	92.2%	90.8%	87.1%	91.3%	90.7%		96.6%
今期人件費	1,880,519	1,708,718	3,282,076	2,175,047	1,697,687	1,726,834	1,783,498	1,699,500	3,758,959	2,219,635	2,089,049	2,192,287	26,213,809	2,184,484